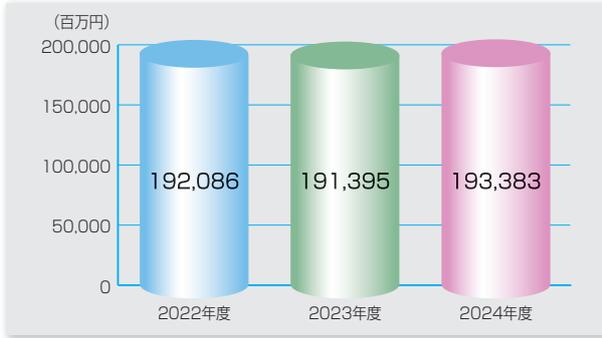


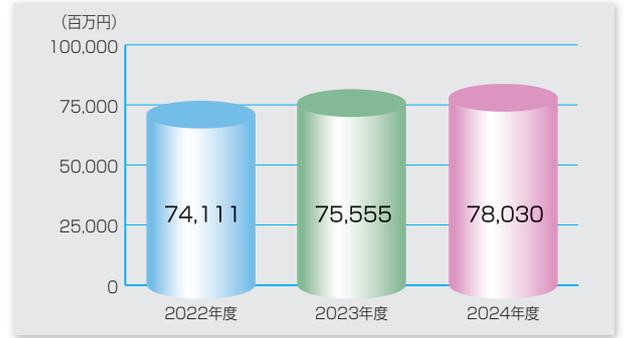
業績ハイライト

■預金積金



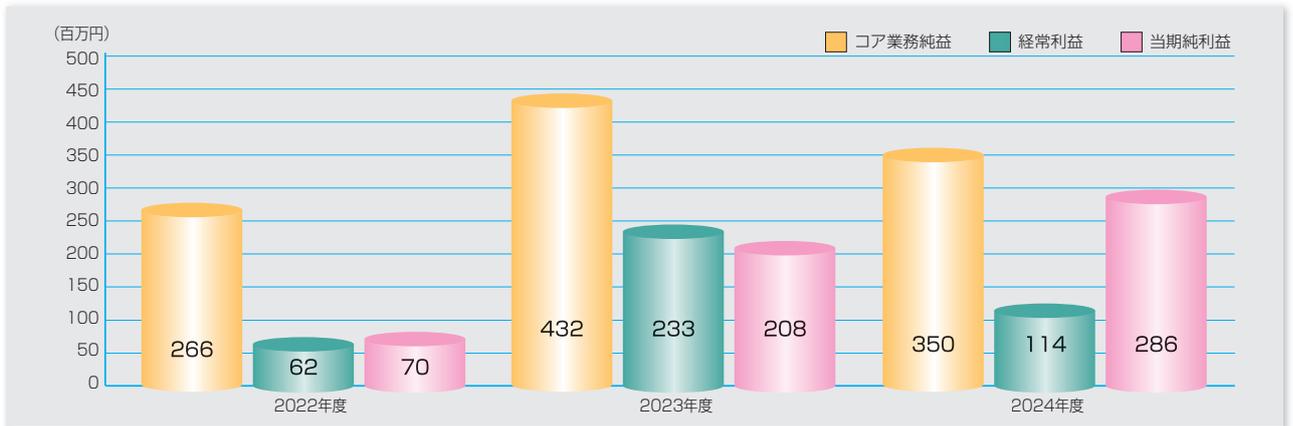
預金積金は、流動性預金・定期性預金ともに増加したことで前期比1,988百万円増加し、期末残高は193,383百万円となりました。

■貸出金



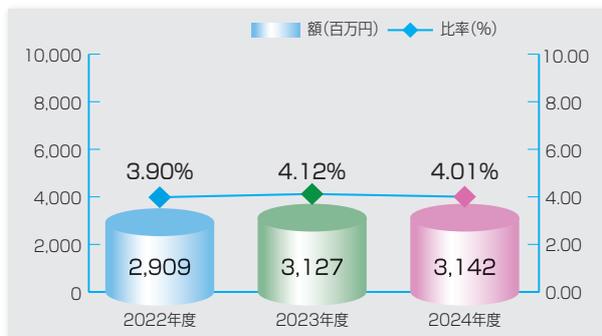
貸出金は、事業資金・消費資金ともに増加したことで前期比2,475百万円増加し、期末残高は78,030百万円となりました。

■損益の推移



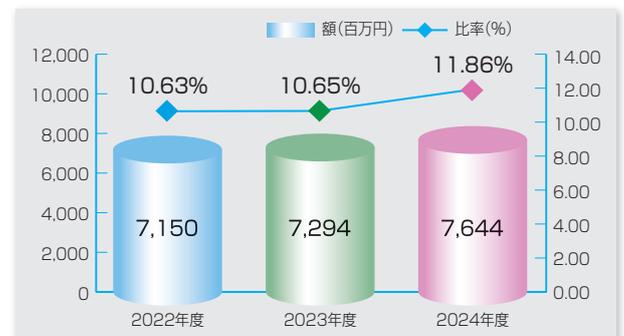
今期は、有価証券利息配当金は減少しましたが、貸出金利息や預け金利息、役務取引等収益等が増加したことで、経常収益は前期比56百万円増加の2,304百万円となりました。一方、国債等債券償還損や貸倒引当金繰入額等は減少しましたが、政策金利引上げに伴い預金利息支払いが大幅に増加したことに加え、経費も増加したことで、経常費用は前期比175百万円増加の2,190百万円となりました。その結果、経常利益は114百万円となりました。更に、税効果会計による繰延税金資産の計上により法人税等調整額が△176百万円となり、当期純利益は286百万円となりました。

■不良債権額と不良債権比率



貸出金償却等、不良債権処理を進めるほか、事業再生等の支援を実施しています。不良債権額は前期比14百万円増加の3,142百万円となりましたが、分母となる貸出金残高の増加により不良債権比率は前期比0.11ポイント低下し4.01%となりました。

■自己資本額と自己資本比率



自己資本の額が前期比350百万円増加し、分母となるリスク・アセット等の額が前期比4,016百万円減少しました。その結果自己資本比率規制（バーゼルⅢ）に基づく自己資本比率は前期比1.21ポイント上昇し11.86%となりました。



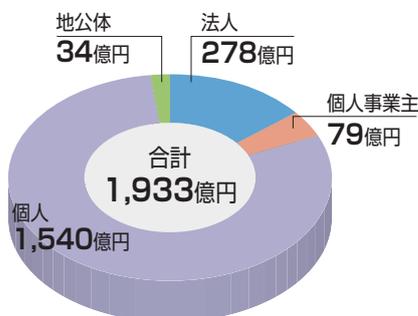
ご預金とご融資

お客さまのご預金について

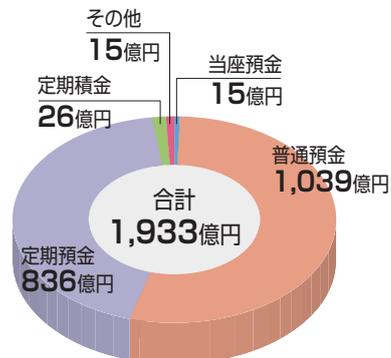
お客様の大切な資金を安全に、確実に、気軽に運用いただけるように、また、目的や期間に応じて選択していただけますよう各種預金を取り揃えています。

預金につきましては、会員限定プレミアム定期預金の募集を通年実施するなど、取引基盤拡大に努めた結果、流動性預金・定期性預金ともに増加したことで、期中19億円増加し、期末残高は1,933億円となりました。

■預金残高構成(人格別)



■預金残高構成(科目別)



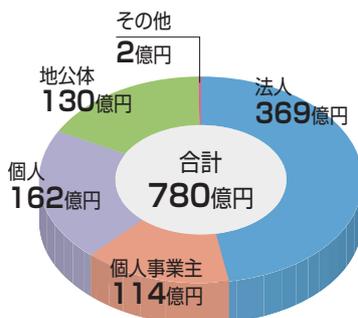
地域のお客さまへのご融資について

地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、地域の中小企業や事業主の皆さまの事業資金、個人の皆さまの住宅資金や教育資金などにご利用いただいています。

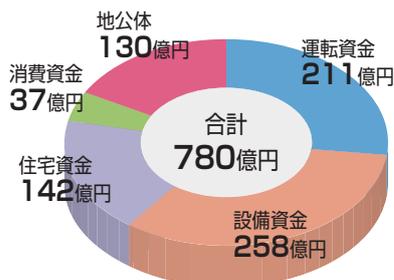
当金庫は、地域経済の発展と地域社会の活性化に寄与するため、多数者利用の原則に基づいた融資を心掛けています。

貸出金につきましては、エネルギー・原材料高騰等により資金繰りが不安定となった事業者に対し支援を行うなど、事業資金および個人向け消費者ローン（住宅ローン等）の拡充に努めた結果、期中24億円増加し、期末残高は780億円となりました。預金積金に対する貸出金の割合は40.35%となっています。

■貸出金残高構成(人格別)



■貸出金残高構成(資金用途別)



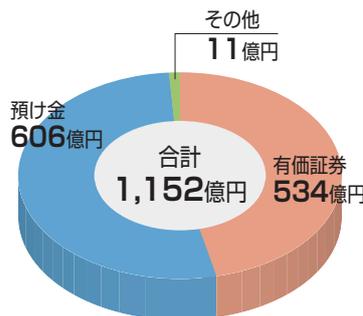
ご融資以外の運用について

当金庫は、ご融資以外の余裕資金について、安全性と健全性を考慮して運用しています。

余裕資金につきましては、日本銀行・信金中央金庫等への預け金や有価証券などで運用いたしました。

2025年3月末の余裕資金運用残高は1,152億円となり、うち、有価証券残高は534億円となっています。

■貸出金以外の運用の残高構成



■有価証券の残高構成

